

# 素材メーカーのイチ押し商品

## スポーツ分野中心に好調

東光リミィが独自開発した温感・冷感機能素材「テラックス」プリントが市場を拡大している。特に、冷感機能の「テラックススクール」は、スポーツ分野を中心に販路が広がり、昨年までの2年間で約20万枚のウェア類が売れるなど好調だ。

テラックスプリントは、電磁波「テラヘルツ」を発する人工鉱石を粉末にし、数種類の鉱石や染料、糊剤と混合して染める機能素材。テラックススクールは生地表に加工し、体の熱を吸収発散する。一昨年から本格的に販売し、ゴルフやバイク、釣り、テニスなどの販路を順次開拓してきた。19年春夏向けは、スポーツタオルやネックウォーマー、ゴルフ用手袋などアクセサリ提案を増やし、前年以上の販売数量を見込む。

### 東光リミィ「テラックス」プリント



スポーツ分野を中心に販路が広がる「テラックススクール」

また、建築や造船、医療などワーキング市場や健康市場のほ

か、エステやヨガの分野、寢具市場からの引き合いも増えた。熱中症予防や防災防止の政策が後押しとなり、今年も異業種向けの展示会で発信を強める。

生地裏に染めて温感効果を発揮する「テラックスホット」も冬物衣料やサポーターなどで着実に販路を広げている。

海外市場では、韓国向けの生地と製品で実績があり、欧州向けでも仏ブルミエール・ヴィジョンで生地を提案した。海外スポーツ系見本市の出展も検討し、世界を視野に入れたテラックスブランドの浸透を目指す。